

調査レポート

生成 AI 時代の商標実務ツール

世界市場の全体像

— 米国・欧州・中国・日本を中心とした網羅的調査 —

2026 年 4 月

Claude Opus 4.6

1. はじめに

生成 AI は商標実務のあらゆる工程を急速に変革しつつある。2024～2025 年にかけて、商標調査・出願・監視・ポートフォリオ管理・紛争対応の各段階で、大規模言語モデル（LLM）やコンピュータビジョンを活用したツールが続々と登場し、従来数週間を要していた業務が数分～数時間に短縮されている¹⁾。米国・欧州・中国・日本を含む主要市場では、民間プラットフォームと政府機関の双方が AI 導入を加速させており、IP 管理ソフトウェア市場は 2023 年の 53.7 億ドルから 2032 年に 234.5 億ドル（CAGR 17.8%）への成長が予測されている²⁾。本レポートでは、商標業務に関わる AI/生成 AI ツールを機能カテゴリ別・地域別に網羅的に調査し、各ツールの特徴・最新動向・差別化要因を詳述する。

2. 商標調査・クリアランス

商標クリアランスは、AI 導入が最も進んだ領域である。音声的・視覚的・概念的類似性の分析にニューラルネットワークと NLP が適用され、従来のブール検索を大幅に超える精度を実現している³⁾。

2.1 Corsearch（TrademarkNow 統合）

Corsearch は 2020 年に TrademarkNow を買収し、AI-native の商標クリアランスプラットフォームとして統合した⁴⁾。主要ツール「ExaMatch」はニューラルネットワークベースの音声分析を各法域の NLP と組み合わせ、音声・綴り・意味・視覚の 4 軸で類似性を評価する⁵⁾。

「NameCheck」は 1,100 以上のグローバルデータベース（商標・社名・ドメイン・デザイン・医薬規制を含む）に対してリアルタイムでスクリーニングを実行し、190 以上の法域をカバーする⁶⁾。

特筆すべきは 2023 年 9 月に発表された「Name Generator」で、ChatGPT と TrademarkNow AI を組み合わせた生成 AI 機能により、最大 20 のブランド名を一括生成し、

即座にグローバルデータベースとの照合を行う⁷⁾。画像商標については「LogoCheck/LogoWatch」がコンピュータビジョンとディープラーニングを用いた視覚的類似性分析を提供し、AI キャリブレーションされたロゴ監視として業界初の製品となった。クリアランス所要時間を約 40%短縮、監視レビュー時間を 50~70%削減すると公表している⁸⁾。

2.2 CompuMark (Clarivate)

Clarivate 傘下の CompuMark は、SAEGIS[®]プラットフォームによるノックアウト検索（186 レジスター、250 以上の国・地域対応）を中心に展開する⁹⁾。2023 年発表の「Brand Landscape Analyzer」は AI 強化型のブランドリスク分析ツールで、従来数日を要したブランド適格性評価を数時間に短縮した¹⁰⁾。

2024 年 5 月の INTA 年次会議で発表された「Trademark Watch Analyzer」は、CompuMark の商標データと Darts-ip の 700 万件以上の訴訟データを統合し、258 カ国・地域のデータを AI アルゴリズムで横断分析する¹¹⁾。さらに 2025 年 5 月には「RiskMark」を新たに発表し、生成 AI と予測 AI を組み合わせた商標リスク評価を実現。1 億 7,250 万件の商標レコードと 500 万件以上の裁判・行政記録を基盤とし、異議申立への反論ドラフトの自動生成機能を搭載した¹²⁾。

2.3 TrademarkVision / DesignVision (Clarivate)

2013 年にオーストラリアで創業された TrademarkVision は、世界初の視覚的商標検索エンジンとして知られる¹³⁾。コンピュータビジョンとディープラーニングにより形状・輪郭・テクスチャ・セマンティック類似性を分析し、ウィーン分類コードの自動提案も行う。2024 年 2 月には USPTO との 1,260 万ドルの契約を獲得し、DesignVision が意匠特許審査官向け AI 画像検索ツールとして 80 以上のグローバルレジスターで展開されている¹⁴⁾。

2.4 Markify (Questel)

フランスの IP マネジメント企業 Questel 傘下の Markify は、240 以上のデータベース（190 カ国）をカバーする ProSearch™プラットフォームを展開する¹⁵⁾。ディープラーニングモデルは実際の紛争事例をトレーニングデータとして使用し、業界最高の信号対ノイズ比を主張する¹⁶⁾。

2.5 その他の注目ツール

Trademarkia (LegalForce RAPC Worldwide) は、「Trademarkia.ai」プラットフォーム上で AI 登録可能性予測ツールと AI 類似性比較レポート生成ツールを提供し、\$99~\$399 の低価格帯で 12 万社以上の顧客を持つ¹⁷⁾。Haloo (カナダ) は Google 支援のスタートアップで、56 種の検索アルゴリズムを内蔵し、195 法域にわたる包括検索を 2 分以内で実行する¹⁸⁾。Huski.ai は AI 駆動の商標検索・ドCKETTING・監視・ブランド保護を統合したプラットフォームで、Web3/ブロックチェーン商標監視にも対応する¹⁹⁾。

3. 政府機関の AI 戦略

3.1 USPTO（米国特許商標庁）

USPTO は 2025 年 1 月に AI 戦略を公表し、5 つの重点分野を定めた²⁰⁾。最も注目されるのは 2026 年 3 月発表の「Class ACT」（Trademark Classification Agentic Codification Tool）で、業界初の AI エージェントとして商標出願の前処理タスクを自動化する。未分類の出願に対する国際分類の自動付与、デザインサーチコードの生成、検索用疑似マークの作成を行い、従来最大 5 カ月を要した処理を数分～数秒に短縮する²¹⁾。

内部ツールとしては「SCOUT」という LLM ベースの生成 AI チャットボットが 200 人以上の職員に展開され、不正出願の検出やサイバーセキュリティ脅威の特定に活用されている²²⁾。2024 年 4 月に発表された AI ツール使用ガイダンスでは、AI 生成のスペシメンは禁止、提出書類の AI 支援は許容するが正確性の審査が必要、と明確化された²³⁾。

3.2 EUIPO（欧州連合知的財産庁）

EUIPO は 2024 年に WTR（World Trademark Review）から 5 度目の「最も革新的な IP 庁」に選出された²⁴⁾。2025 年に発表した「Early TM Screening」は、出願前に AI が先行権利との抵触および記述性・識別力の問題を自動検出する画期的なプレファイリングツールである²⁵⁾。

TMview AI 画像検索は 2019 年の導入以来拡大を続け、2023 年には TM5 全オフィス（CNIPA、JPO、KIPO、USPTO 含む）に拡張され、5,700 万件以上の図形商標を数秒で比較可能になった²⁶⁾。2024 年 7 月の組織再編では AI ガバナンス担当者を事務局長直属ポストとして新設し、「人間中心」の AI アプローチを制度的に担保している²⁷⁾。

3.3 WIPO（世界知的所有権機関）

WIPO の Global Brand Database は、2019 年からディープニューラルネットワークによる AI 画像検索を搭載し、45 以上の国のコレクションをカバーする²⁸⁾。「Global Goods &

Services Terms Explorer」はニューラルネットワークベースのセマンティック検索で適切なニース分類の用語を多言語で提案する。「Vienna Classification Assistant」は図形要素のウィーン分類コードを AI が自動提案する²⁹⁾。

3.4 CNIPA（中国国家知的財産権局）

CNIPA は機械翻訳、画像認識、NLP を活用した AI 支援審査・検索システムを展開し、商標審査の平均処理期間は 4 カ月を維持している³⁰⁾。2025 年 3 月には AI 審査への活用加速を正式表明し、77 カ所の国家知的財産権保護センターのうち 62 カ所が AI 関連の事前審査サービスを提供している³¹⁾。

3.5 JPO（日本国特許庁）

JPO は 2022 年度から 2026 年度までの「AI 技術活用アクションプラン」を策定し、8 つのプロジェクト領域で AI 活用を推進している³²⁾。2023 年 4 月から AI 画像商標検索ツールを審査官向けに運用開始し、2024 年度には AI 文字商標検索の技術検証、指定商品・役務審査への AI 適用を進めている³³⁾。2025 年 6 月には AI 生成商標の登録可能性を現行法下で確認した³⁴⁾。

3.6 その他の IP 庁

IP Australia は 2022 年 5 月に「TM Checker」を発表し、2025 年 7 月までに 26,000 以上の企業が約 76 万件の商標チェックを実施した（顧客満足度 87%）³⁵⁾。UK IPO は 2020 年 10 月に「Trade Mark Pre-Apply Service」を発表し、不適切な分類用語による拒絶が 14%減少、商品・役務リストの長さが 70%短縮された³⁶⁾。インド商標登録局は 2024 年 9 月に AI/ML 商標検索技術と生成 AI チャットボット「IP Saarthi」を同時発表した³⁷⁾。IPOS（シンガポール知的財産庁）は 2024 年 1 月に AI ベース商標分類レコメンダーを発表している³⁸⁾。

4. 監視・ブランド保護

4.1 MarqVision

Y Combinator 出身の MarqVision（ソウル本社）は、AI ブランド保護分野で最も急成長するスタートアップである。「Marq AI」はコンピュータビジョンにより 1,500 以上のプラットフォームで 99%以上の検出精度を実現し、検出から執行までの平均対応時間は 15 分³⁹⁾。2025 年 9 月に 4,800 万ドルのシリーズ B を調達（累計約 9,000 万ドル）し、ARR は 2,000 万ドル超で年間倍増中である⁴⁰⁾。

4.2 Red Points

バルセロナ創業・ニューヨーク本社の Red Points は、月間 27 億データポイントを AI モデルで処理する。10 年間のトレーニングデータに基づくカスタム AI モデルが各製品アセットごとに構築され、95%の自動化率を達成可能。5,000 以上のマーケットプレイス・SNS・ウェブサイトをカバーし、顧客継続率 99%を誇る⁴¹⁾。

4.3 Bolster AI

2017 年創業の Bolster AI は、ディープラーニングによる侵害判定を 100 ミリ秒以内で実行し、完全自動化のテイクダウンを 95%以上のケースで 2 分以内に完了させる。LLM とコンピュータビジョン（ViT、BEiT、SWIN Transformer モデル）を活用し、ウェブドメイン・SNS・モバイルアプリ・メール・マーケットプレイス・ダークウェブを同時監視する⁴²⁾。

4.4 CompuMark Trademark Watch Analyzer

2024 年 5 月発表の Trademark Watch Analyzer は、3,000 以上のルールベースアルゴリズムとニューラルネットワークを組み合わせ、191 の公式レジスターと Darts-ip の訴訟データを横断的に AI 分析する⁴³⁾。その他、Tracer AI はマシンビジョンでオンラインマーケットプレイストラフィックの 95%を監視し、Doppel はエージェント的なソーシャルエンジニアリング防御プラットフォームを提供する⁴⁴⁾。

5. ポートフォリオ管理・出願支援

5.1 Anaqua (AQX 11)

2024 年 6 月発表の AQX 11 は AI 搭載 IP マネジメントプラットフォームで、商標管理では集中型リクエストハブ、クリアランストラッキング、HyperView™ダッシュボードによるポートフォリオ分析を提供する⁴⁵⁾。2025 年 11 月には AnyGen AI との戦略提携を発表し、さらなる AI ソリューション拡充を予告している⁴⁶⁾。

5.2 Dennemeyer (DIAMS iQ)

1962 年創業の Dennemeyer グループは DIAMS iQ による IP マネジメントソフトウェアを提供する。自動支払期日計算・通知、全条約・法域対応の資産作成ガイド、EPO Espacenet・USPTO 商標レジスターとの API 連携を搭載する⁴⁷⁾。Unilever、Interparfums 等が顧客であり、ソフトウェアとサービスを一体提供する「ワンストップショップ」モデルが差別化要因である⁴⁸⁾。

5.3 Questel (Qthena)

Questel の生成 AI アシスタント「Qthena」は、商品・役務記述の自動生成、オフィスアクション対応管理 (EUIPO と USPTO の双方に対応)、使用証拠の分類、検索・監視結果の AI レビューを提供する⁴⁹⁾。OpenAI または Gemini のモデルを選択可能で、ISO 27001 および SOC 2 認証インフラ上で稼働する⁵⁰⁾。

5.4 ニース分類 AI 支援ツール

主要な専用ツールとして、Dynolex TM Classification AI (NLP によるニース分類の無料提案ツール) がある⁵¹⁾。WIPO の G&S Terms Explorer、EUIPO の TMclass、各国 IP 庁のツールも分類支援に AI を活用している⁵²⁾。

6. 中国・アジア市場

6.1 中国の民間 AI プラットフォーム

権大師（Quandashi）は北京梦知网科技有限公司が2014年に創業したAI知的財産サービスプラットフォームで、ディープラーニングによる図形精密検索、AI商標ネーミング、ビッグデータ監視、12次元評価による商標価値算定を提供する。6,000万件以上の商標データをリアルタイム更新し、30万社以上の企業に100万件以上のサービスを提供。商標出願承認率89%を達成している⁵³⁾。

PatSnap/智慧芽はシンガポール創業・中国R&D本部のIPインテリジェンスプラットフォームで、1億8,000万件以上の特許データを170カ国でカバーする。2024年3月にはLLMベースのAIアシスタント「芽仔（Yazai）」を発表した⁵⁴⁾。Alibaba Cloud商標サービスは「AI商標登録ロボット」を提供していたが、2024年3月にAlibaba Cloudは直接の商標代理サービスを終了し、第三者サービスプロバイダーによるプラットフォームモデルへ移行した⁵⁵⁾。

6.2 中国の大規模言語モデルと商標業務

中国のLLMは商標分野への応用が急速に進んでいる。DeepSeek R1モデルはCNIPAの過去の決定と照合して商標拒絶の可能性を予測でき、Alibaba Qwen-3-Maxは外国ブランドの中国語音訳リスクを検出する⁵⁶⁾。WIPOによれば、中国はAI関連特許の世界最大の保有国で全体の60%を占め、生成AI発明は38,000件以上で2位の米国の6倍に達する⁵⁷⁾。

6.3 日本のAI商標ツール

Toreru（トレル）はAI搭載の商標検索エンジン（独自開発・無料利用可）とクラウド型商標登録システムを運営し、弁理士の業務量の約90%をAIとウェブシステムで自動化、ワークロードを1/10に削減すると主張する⁵⁸⁾。Cotobox（コトボックス）はAI区分絞り込み機能と無制限の無料AI商標検索を提供し、8,000社以上が利用している⁵⁹⁾。

6.4 韓国の AI 動向

KIPO（現在「知的財産部（MOIP）」に昇格）は 2023 年から LG AI Research と提携し、先行技術検索・分類・要約のための「特許専門 AI」言語モデルを開発中である。2025 年予算 7,058 億ウォン（約 5.11 億ドル）には AI 審査支援サービスの投資が含まれ、2023～2027 年 AI ロードマップで「世界最高の AI ベース審査・審判システム」の構築を目指す⁶⁰⁾。

7. 紛争・訴訟支援

Clarivate RiskMark（2025 年 5 月発表）は生成 AI と予測 AI を組み合わせ、異議申立への反論ドラフトを法的原則に基づいて自動生成する¹²⁾。Rocketeer（Simmons & Simmons 法律事務所）は EUIPO での紛争結果を 93%の精度で予測する AI ベースの商標紛争予測ツールである。「ブラックボックス」ではなく法的推論の説明を提供する点が差別化要因である。汎用法律 AI としては、Harvey AI（評価額 50 億ドル）、Thomson Reuters CoCounsel Legal、vLex Vincent AI、LexisNexis Protégé が商標訴訟にも活用されている。

8. 新興スタートアップ（2023～2025 年）

Demarka（ウクライナ、2024 年）は Lexberry IP マネジメントシステムからスピノフし、スタートアップ/SMB 向けの AI 商標検証・モニタリングを提供する。フリーミアム SaaS モデル（無料の類似検索、50 ドル/フルチェック）で運営し、2027 年までに欧州・米国展開を計画している。AI Lawyer (ailawyer.pro) は USPTO、EUIPO、国際レジスターを横断する AI 商標検索を提供し、Trademark Bob (trademarkbob.ai) は AI 商標名検索に希釈化分析を組み合わせたリスク評価ツールである。

9. 業界全体を形作る 7 つの構造的トレンド

第一に、生成 AI の本格統合が始まった。Corsearch (ChatGPT Name Generator)、Questel (Qthena)、Clarivate (RiskMark) がそれぞれ異なるアプローチで生成 AI を商標ワークフローに組み込み、従来の予測 AI・ルールベース AI との併用モデルが主流になりつつある。

第二に、エージェントック AIが登場した。USPTO の Class ACT、Thomson Reuters の CoCounsel Legal Deep Research は、AI が自律的に多段階タスクを計画・実行する新世代の技術を象徴している²¹⁾。

第三に、ハイブリッドインテリジェンスモデル (AI+人間専門家) が業界コンセンサスとなっている。全主要 IP 庁および商用プラットフォームが「AI は人間を補強するが代替しない」というアプローチを採用している。

第四に、画像 AI 商標検索の成熟が著しい。TrademarkVision/DesignVision、LogoCheck、Markify、EUIPO TMview、WIPO Global Brand Database のいずれも高度な視覚的類似性分析を実現した¹⁴⁾。

第五に、プレファイリング AI ツールが世界的に普及している。EUIPO Early TM Screening、UK IPO Pre-Apply Service、IP Australia TM Checker、India AI 商標検索など、出願前段階での品質向上が各国の戦略的優先事項となっている²⁵⁾³⁶⁾。

第六に、中国の AI 商標エコシステムが独自に発展している。権大師、PatSnap/智慧芽に加え、DeepSeek、Qwen、Kimi などの中国製 LLM が商標業務に直接適用され始めている⁵³⁾。

第七に、法律事務所の AI 採用加速が顕著である。ABA 法律技術調査によれば、法律事務所の AI 採用率は 2023 年の 11% から 2024 年の 30% へ約 3 倍に急増しており、商標実務における AI 活用は今後さらに加速すると見られる。

10. 結論

商標業務における AI の役割は、単なる検索効率化から、戦略的意思決定支援・生成型ドキュメント作成・自律的タスク実行へと急速に進化している。特に Clarivate RiskMark の異議申立ドラフト自動生成や USPTO Class ACT のエージェントック分類は、AI が「ツール」から「協働者」へと質的転換を遂げつつあることを示す。ただし、各ツールの精度・カバレッジ・法域対応には依然として大きな差異があり、「AI アルゴリズムによる一般化」リスクや AI 生成コンテンツの知的財産権帰属問題など、新たな法的課題も生じている。

今後の競争優位は、どの AI ツールを選ぶかだけでなく、人間の専門知識と AI をいかに最適に組み合わせるかという運用設計に依存するだろう。商標専門家にとっては、自らの業務プロセスに最適な AI スタックを構築し、精度検証と品質管理の仕組みを確立することが急務である。

参考文献

- 1) Patentrenewal, "How to Leverage AI in Trademarks in 2025", <https://www.patentrenewal.com/post/how-to-leverage-ai-in-trademarks>
- 2) Straits Research, "Enterprise IP Management Software Market Size And Share Report, 2032", <https://straitsresearch.com/report/enterprise-ip-management-software-market>
- 3) PatentPC, "How AI-Powered Trademark Search Tools Work: A Deep Dive", <https://patentpc.com/blog/how-ai-powered-trademark-search-tools-work-a-deep-dive>
- 4) Corsearch, "Who We Are and What We Do", <https://careers.corsearch.com/pages/who-we-are-and-what-we-do>
- 5) Corsearch, "TrademarkNow - AI-Powered Trademark Platform", <https://corsearch.com/trademarknow/>
- 6) Corsearch, "TrademarkNow - AI-Powered Trademark Platform", <https://corsearch.com/trademarknow/>
- 7) Corsearch, "Corsearch Launches Groundbreaking AI-Powered Brand & Product Naming Solution", <https://corsearch.com/about/press-releases/corsearch-launches-ai-powered-brand-naming-solution/>
- 8) Corsearch, "TrademarkNow 2025: The Year of AI Innovation", <https://corsearch.com/content-library/blog/trademarknow-2025-the-year-of-ai-innovation/>
- 9) Clarivate, "CompuMark Trademark Tools & Solutions", <https://clarivate.com/intellectual-property/compumark/>
- 10) Clarivate, "What's new in Brand IP 2025", <https://clarivate.com/intellectual-property/brand-ip-solutions/whats-new-in-brand-ip-2025/>
- 11) Clarivate / PR Newswire, "Clarivate Launches AI-Enhanced Solution to Accelerate Trademark Watching", 2024, <https://www.prnewswire.com/news-releases/clarivate-launches-ai-enhanced-solution-to-accelerate-trademark-watching-302148980.html>
- 12) Clarivate / PR Newswire, "Clarivate Launches AI-based RiskMark to Accelerate Trademark Conflict Assessments", 2025, <https://www.prnewswire.com/news-releases/clarivate-launches-ai-based-riskmark-to-accelerate-trademark-conflict-assessments-302458375.html>
- 13) PR Newswire, "Clarivate Analytics to enhance AI-driven trademark research solutions with TrademarkVision acquisition", <https://www.prnewswire.com/news-releases/clarivate-analytics-to-enhance-ai-driven-trademark-research-solutions-with-trademarkvision-acquisition-300740793.html>
- 14) World IP Review, "USPTO partners with Clarivate for AI-driven image search tool", <https://www.worldipreview.com/patent/uspto-partners-with-clarivate-for-ai-driven-image-search-tool/>; USPTO, "USPTO launches new design patent examination AI tool", <https://www.uspto.gov/about-us/news-updates/uspto-launches-new-design-patent-examination-ai-tool>
- 15) Markify, <https://www.markify.com/>; Questel, "Trademark Screening - Markify ProSearch",

-
- <https://www.questel.com/trademark/clearance-and-watch-platform/markify-prosearch/>
- 16) Questel, "AI Assistant for Trademark Professionals", <https://www.questel.com/resourcehub/ai-assistant-for-trademark-productivity/>
 - 17) Trademarkia AI, "AI Tools", <https://www.trademarkia.ai/ai-tools>; Trademarkia AI, "Trademark Registrability Predictor", <https://www.trademarkia.ai/registrability-predictor>
 - 18) Haloo, "Trademark Solutions for Law Firms", <https://haloo.ai/solutions-law-firms>; LawSites, "Startup Alley: Haloo", <https://www.lawnext.com/startup-alley-haloo>
 - 19) Huski.ai, <https://huski.ai/>
 - 20) Crowell & Moring, "AI Innovation: What Companies Need to Know About How the USPTO is Implementing AI Technologies", <https://www.crowell.com/en/insights/client-alerts/ai-innovation-what-companies-need-to-know-about-how-the-uspto-is-implementing-ai-technologies-to-modernize-its-workflows>
 - 21) USPTO, "Trademark classification goes agentic with USPTO's announcement of 'Class ACT' assistant", <https://www.uspto.gov/about-us/news-updates/trademark-classification-goes-agentic-usptos-announcement-class-act-assistant>; US Patent, "USPTO Launches AI Tool That Cuts Trademark Classification Time from Five Months to Five Minutes", <https://www.uspatent.com/2026/03/>
 - 22) JD Supra, "USPTO Launches AI Examination Tools – What This Means for Trademark Applicants", <https://www.jdsupra.com/legalnews/uspto-launches-ai-examination-tools-6593937/>
 - 23) Skadden, "USPTO Provides Guidance on Using AI-Based Tools in Filing and Preparing Patent and Trademark Applications", <https://www.skadden.com/insights/publications/2024/05/uspto-provides-guidance-on-using-ai-based-tools>; Greenberg Traurig, "USPTO Issues Guidance on Use of AI-Based Tools", <https://www.gtlaw.com/en/insights/2024/4/>
 - 24) World Trademark Review, "Innovation at the EUIPO: spotlight on digital tools and services", <https://www.worldtrademarkreview.com/data/ip-office-tools-and-services/>
 - 25) NatLawReview, "EUIPO Launches Artificial Intelligence Early Screening Tool", <https://natlawreview.com/article/early-tm-screening-euipos-new-ai-tool-pre-filing-trade-mark-checks>; INSME, "EUIPO launches new AI tool for trademark applications", <https://www.insme.org/euipo-launches-new-ai-tool-for-trademark-applications/>
 - 26) EUIPO, "AI at EUIPO: In-house image search in TMview extended to all TM5 offices", <https://www.euipo.europa.eu/en/news/ai-at-euipo-in-house-image-search-in-tmview-extended-to-all-tm5-offices>
 - 27) EUIPO, "EUIPO unveils reorganisation: focus on AI, inclusivity and sustainability", <https://www.euipo.europa.eu/en/news/euipo-unveils-reorganisation-focus-on-ai-inclusivity-and-sustainability-of-euipn>
 - 28) WIPO, "Global Brand Database", <https://www.wipo.int/en/web/global-brand-database>; WIPO, "State-of-the-Art AI-Based Image Search Tool for Brands",
-

-
- https://www.wipo.int/pressroom/en/articles/2019/article_0005.html
- 29) WIPO, "AI Tools and Services", <https://www.wipo.int/en/web/ai-tools-services>; WIPO, "AI-based Classification for IP Data", <https://www.wipo.int/en/web/ai-tools-services/classification-assistant>
- 30) CNIPA, "AI Used to Enhance Patent Examination Efficiency, Quality", https://english.cnipa.gov.cn/art/2025/4/25/art_3090_199315.html
- 31) NatLawReview, "China's National Intellectual Property Administration: Accelerate the Use of AI in Examination", <https://natlawreview.com/article/chinas-national-intellectual-property-administration-accelerate-use-ai-examination>; CNIPA, "IP Protection Enhanced to Promote Tech Innovation", <https://english.cnipa.gov.cn/art/2025/4/23/>
- 32) Soei IP Law, "Action Plan for Utilization of AI Tech at the Japan Patent Office", <https://www.soei.com/en/patent-design-trademark-japan-action-plan-for-utilization-of-ai-tech-at-the-japan-patent-office/>
- 33) Abe, Ikubo & Katayama, "Advancements in Trademark Examination Using AI by the Japan Patent Office (JPO)", <https://www.aiklaw.co.jp/en/whatsnewip/2025/01/22/5268/>
- 34) Keisen Associates, "JPO Confirms Registrability of AI-Generated Trademarks", <https://keisenassociates.com/jpo-confirms-registrability-of-ai-generated-trademarks-and-maintains-current-framework-for-virtual-space/>
- 35) Australian Public Service Commission, "Trade Mark Checker simplifies IP for business", <https://www.apsc.gov.au/>; IP Australia, "IP Australia Ranks 3rd Best In World For Innovation In IP Agencies", <https://www.ipaustralia.gov.au/news-and-community/news/>
- 36) UK IPO, "IPO's first AI-powered tool improves quality of TM applications", <https://www.gov.uk/government/news/ipos-first-ai-powered-tool-improves-quality-of-tm-applications>
- 37) Mondaq, "Intellectual Property Newsletter | September 2025"; Tmwala, "AI Tools Transform Trademark & Patent Filing in India", <https://tmwala.com/ai-tools-for-trademarks-and-patents/>
- 38) World Trademark Review, "Innovation at the IP Office of Singapore", <https://www.worldtrademarkreview.com/data/ip-office-tools-and-services/>
- 39) MarqVision, <https://www.marqvision.com/>; MarqVision, "10 Best Brand Protection Tools Reviewed", <https://www.marqvision.com/blog/brand-protection-tools>
- 40) TechCrunch, "Harvard Law to AI: MarqVision lands \$48M to combat brand abuse", 2025/9/15, <https://techcrunch.com/2025/09/15/>; PR Newswire, "MarqVision Lands \$48M Series B", <https://www.prnewswire.com/news-releases/marqvision-lands-48m-series-b-302555518.html>
- 41) Red Points (via G2 / Gartner / SoftwareOne reviews), <https://www.g2.com/products/red-points/reviews>
- 42) Bolster AI, "Brand Protection Software & Copyright Infringement Solution", <https://bolster.ai/solutions/brand-protection-software>; "Computer vision for brand protection", <https://bolster.ai/blog/computer-vision>
-

-
- 43) Clarivate, "Clarivate Launches AI-Enhanced Solution to Accelerate Trademark Watching",
<https://clarivate.com/news/clarivate-launches-ai-enhanced-solution-to-accelerate-trademark-watching/>;
Clarivate, "Trademark Watch Analyzer", <https://clarivate.com/intellectual-property/brand-ip-solutions/trademark-watch-analyzer/>
 - 44) Tracer AI, <https://www.tracer.ai/>; Doppel, <https://www.doppel.com/>; ZeroFox,
<https://www.zerofox.com/blog/ai-brand-protection-software/>
 - 45) GlobeNewswire, "Anaqua Launches AI-Powered IP Management Platform AQX 11", 2024/6/26,
<https://www.globenewswire.com/news-release/2024/06/26/2904443/>; Anaqua,
<https://www.anaqua.com/resource/aqx-11-anaquas-ai-powered-ip-management-platform/>
 - 46) GlobeNewswire, "Anaqua to Unveil Breakthrough AI Solutions at IP Service World", 2025/11/20,
<https://www.globenewswire.com/news-release/2025/11/20/3191615/>
 - 47) Dennemeyer, "DIAMS iQ | IP Management Software", <https://go.dennemeyer.com/ip-software/diamsiq>
 - 48) Dennemeyer, "How to efficiently manage your Intellectual Property", <https://www.dennemeyer.com/ip-blog/news/how-to-efficiently-manage-your-intellectual-property-using-diams-iq/>
 - 49) Questel, "AI Trademark Office Action Response Management", <https://www.questel.com/trademark-office-action-response-management-with-ai/>; Questel, "Artificial intelligence and IP: AI and Trademarks",
<https://www.questel.com/resourcehub/artificial-intelligence-and-ip-whats-on-the-horizon-for-ai-and-trademarks/>
 - 50) Questel, "AI assistant for patent and trademark productivity | Qthena", <https://www.questel.com/qthena/>;
IPWatchdog, "Questel Achieves New Milestone for AI-Elevated IP Solutions with Strategic Acquisition of qatent", <https://ipwatchdog.com/press/>
 - 51) Dynolex, "Trademark Classification AI / Trademark Class Finder AI", <https://www.dynolex.com/trademark-classification-description-ai/>
 - 52) WIPO, "AI-based Classification for IP Data", <https://www.wipo.int/en/web/ai-tools-services/classification-assistant>
 - 53) C114 通信网, "権大師孟潭：基于技术和数据，走一条不同的知产服务之路", <https://m.c114.com.cn/w16-1164896.html>; Aliyun, <https://startup.aliyun.com/project/gold/detail/1189810150650469888>
 - 54) Baidu Baike, "智慧芽", <https://baike.baidu.com/item/%E6%99%BA%E6%85%A7%E8%8A%BD>; Spellbook,
"Best AI Patent Management Tools", <https://www.spellbook.legal/learn/best-ai-tools-for-ip-lawyers>
 - 55) Lexology, "腾讯云、阿里云相继宣布退出商标代理市场",
<https://www.lexology.com/library/detail.aspx?g=cee9b527-de12-4bdc-82b5-862eb6a20f79>; 知产力,
<https://www.zhichanli.com/p/318906291>; Alibaba Cloud, <https://wanwang.aliyun.com/trademark/regnew>
 - 56) RegistrationChina, "AI-Powered Chinese Trademark Selection: 5 Strategies to Avoid Rejection in 2025",
<https://www.registrationchina.com/articles/ai-powered-chinese-trademark-selection-5-strategies-to-avoid-rejection-in-2025/>
-

- 57) WIPO, "China-Based Inventors Filing Most GenAI Patents, WIPO Data Shows",
https://www.wipo.int/pressroom/en/articles/2024/article_0009.html
- 58) Strate, "toreru(トレル)の料金・評判・口コミ", <https://strate.biz/trademark/toreru/>
- 59) 起業 LOG SaaS, "Cotobox (コトボックス) の特徴・評判・口コミ・料金",
<https://kigyolog.com/tool.php?id=901>
- 60) Lexology, "KIPO Announces 2025 Budget: AI-based Examination Support Service on the Horizon",
<https://www.lexology.com/library/detail.aspx?g=dcacfec9-b0ba-494c-8eee-6fe5eeb6559e>

免責事項：本レポートは公開情報に基づく調査であり、各ツールの性能・機能を保証するものではありません。
最新情報は各社公式サイトをご確認ください。